



ドイツ語の世界を知ろう♪

どこで話されていることば？

ドイツ語を公用語にしている主な国は、EU最大の経済大国ドイツ、観光立国で音楽の都ウィーンを擁するオーストリア、『アルプスの少女ハイジ』の舞台であるスイス、非常に小さいながら金融で知られるリヒテンシュタインです。そのほかに、国民一人当たりのGDPが世界一のルクセンブルクと美食で知られるベルギーでも公用語とされています。ドイツ語はEU圏内で第一言語としての話者数が最も多い言語です。



学習言語としてもドイツ語は多くの地域でよく選ばれています。デンマークやスウェーデンなどの北欧諸国、チェコ、ポーランド、ハンガリー、スロバキアなどの東欧諸国、さらにはスペインやイタリアなどの南欧諸国に至るまで多くの地域で学ばれ、特に東欧諸国ではドイツ語学習熱が高い傾向にあります。ドイツ語ができれば、経済的に強いドイツ語圏での就職の道が開けるからです。そうでなくとも母語プラス2言語の3言語ができることが推奨され、ある意味それが標準的と言ってもよいEUではドイツ語は多くの人に学ばれ、ドイツ語圏への留学生も多くいます。さらにはEU圏内だけでなく世界的に見ても多くの人に学ばれ(第4位)、広く話されている言語のひとつです。

身近にあるドイツ語

日本語になったドイツ語はたくさんあり、日常的によく使っているものも多いです。いくつか例を挙げてみます。

日本語	ドイツ語
アルバイト	Arbeit
エネルギー	Energie
アレルギー	Allergie
カルテ	Karte
リュックサック	Rucksack
レントゲン	Röntgen
バウムクーヘン	Baumkuchen

(Baum = 木 / Kuchen = ケーキ)



ベルリン (ドイツ)



ノイシュヴァンシュタイン城、フッセン (ドイツ)

ドイツ語と英語の関係

ドイツ語と英語は同じゲルマン系の言語で、オランダ語もこれに属します。歴史で習う「ゲルマン人の大移動」のゲルマンです。同じヨーロッパ言語の中でもフランス語、イタリア語、スペイン語などのロマンス系言語とは系統が異なります。かつて、現在のヨーロッパ地域に住み着いていたゲルマン人たちは西・北・東ゲルマン語を話していました。西ゲルマン語を話していたゲルマン人たちの中で主にアンゲル人とザクセン人がブリテン島に渡り、のちにアングロ・サクソンと呼ばれることになります。イングランド (England) という名は「アンゲル人の土地」という意味です (ザクセンの名は今もドイツの州の名称に残っています)。彼 / 女らが話す言語が英語 (English) になり、そして大陸に残ったほうのゲルマン人たちが話す言語がドイツ語、オランダ語になりました。このようにドイツ語と英語は歴史的に見て非常に近い言語なので似ています。一方で発音や文法規則の中には異なる部分も多くあります。ドイツ語を学習し、その似ている部分と異なる部分を詳しく知ることによって「英語のあれはそういうことだったのか!」と気づくことができます。



*ドレスデンはザクセン州の州都

ゲルマン系の3つの言語の単語を比較してみましょう。地理的關係を踏まえて西から順に並べてみます。発音はいったん置いておいて、つづりがよく似ていますね。

意味	英語	オランダ語	ドイツ語
父親	father	fader	Vater
通り	street	straat	Straße
金曜日	friday	vrijdag	Freitag

もう少しドイツ語単語と英単語を比べてみましょう。

英語	ドイツ語	意味
father	Vater	父親
book	Buch	本
good-better-best	gut-besser-best	良い
sing	singen	歌う
find	finden	見つける

とてもよく似ていることがわかると思います。ほかにも例えば「名前」は英語で name、ドイツ語では Name でまったく同じつづりです。ただし発音は違います。詳しい発音のルールはぜひ授業で学んでほしいですが、簡単に言うとドイツ語はいわゆるローマ字読みに近いことが多いです。例えば Name の発音は「ナーメ」で、ローマ字読みで単純かつカタカナ発音でも悪い発音ではありません。

ドイツとオーストリアについて

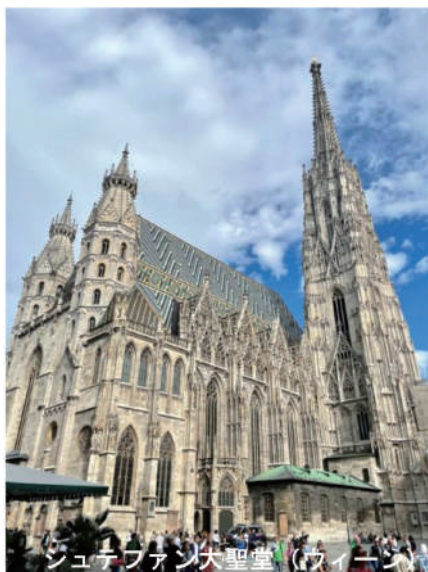
ドイツの特徴を端的に言えば、経済、工業、環境、学術・研究です。人口は約8400万人で日本の約3分の2ですが、2023年にGDPで日本を抜き世界第3位になりました。科学技術力、工業力の高さは例えば世界的に有名な自動車メーカー（メルセデス・ベンツ、BMW、アウディ、フォルクスワーゲン、ポルシェ）に代表されていると言ってよいでしょう。ドイツは環境先進国としても知られていて2023年の電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合が50%を超えました。大学、研究機関の質の高さでも知られていて、世界で3番目に多くのノーベル賞受賞者を輩出しています。また、世界遺産の登録件数も世界第3位で、51件登録されています。

順位	国名	登録件数
1	イタリア	58
2	中国	56
3	ドイツ	51
4	スペイン、フランス	49
6	インド	40
7	メキシコ	35
8	英国	33
9	ロシア	30
10	イラン	26
11	日本	25
25	スイス	13
27	オーストリア	12

世界遺産登録件数ランキング

ドイツの最新の情報を詳しく知りたい方はドイツ外務省による冊子『ドイツの現状』（2023）をぜひご覧ください（PDFで閲覧できます）。

オーストリアの特徴をズバリ3つ挙げるとしたら芸術、観光、自然です。芸術の中でも何と言っても音楽で、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、ブルックナー、マーラーなどが住んでいた「音楽の都」ウィーンは別格です。ウィーン国立歌劇場やウィーン・フィルは世界的に特に有名です。オーストリアは観光立国としても知られていて、ハプスブルク期の栄華の香りを残す首都ウィーン、モーツァルトの生誕地ザルツブルクには世界中から多くの観光客が訪れます。文化的遺産のほかに美しい自然も魅力です。世界遺産も多く、国土面積が北海道とほぼ同じくらいでありながら12件登録されています（世界第27位）。



シュテファン大聖堂（ウィーン）



ハルシュタット（オーストリア）

中央大学からドイツ語圏の大学へ

留学制度には1か月間、1学期、1年間の3つの留学期間があります。在学中に短期間でも留学することを強くおすすめします。

おもな留学先

- | | |
|----------------------|---|
| 1. テュービンゲン大学 |  |
| 2. ヴェルツブルク大学 |  |
| 3. オスナブリュック大学 |  |
| 4. ベルリン自由大学 |  |
| 5. ミュンスター大学 |  |
| 6. ミュンヘン大学（法学部のみ） |  |
| 7. アーヘン工科大学（理工学部のみ） |  |
| 8. フランクフルト金融経営大学（英語） |  |
| 9. ウィーン大学（商学部のみ） |  |



* 国際センターおよび商学部の留学プログラムで留学できるドイツ語圏の大学です。

もっと知りたい方へ

Padlet「中央大学商学部ドイツ語」で中央大学商学部のドイツ語科目、演習科目、講義科目、留学、検定試験、奨学金などの情報を発信しています。ぜひ覗いてみてください！

そのほか、X（旧 Twitter）でたまにつぶやいています（X「中央大学商学部ドイツ語」）。

おわりに：外国語を学ぶということ

„Wer fremde Sprachen nicht kennt, weiß nichts von seiner eigenen.“

「外国語を知らない者は、自身の言語についても何も知らない」

最後にドイツを代表する文豪ゲーテが残した言葉を紹介します。

外国語を知ることで母語に自覚的になります。その外国語が英語だけでなくさらにもう一言語あるとより相対化されより複眼的になります。そして母語に自覚的になるのみならず、自分が育った文化を、そして自分自身を深く知ることにつながっていきます。

その意味では学ぶ言語はドイツ語でもまた別の言語もいいのですが、みなさんとぜひ一緒にドイツ語を学ぶことができれば嬉しいです♪